

# section 08 方針に基づく施策と取組

市は、方針1～4を横断して実施する「まちだSmile-link project(スマイルリンクプロジェクト)」に加え、方針1～3に沿って施策ごとに取組を設定します。そして、それらを期間内に事業化し、実施することで、10年後に花開き「町田の特色」と言えるような文化芸術の種を育てていきます。

なお、取組の実施にあたっては、方針4に基づいて、多様な主体との共創やチャレンジを創出する視点を取り入れ、充実を図ります。



“創造力は無限大”

みなさんなら何ができるか一緒に考え、町田の文化芸術を育てていきましょう



方針1 / きっかけをつくる	
施策1	誰もが気軽に鑑賞・体験できる機会の確保
取組①	文化芸術を身近に感じるイベントを開催します 【文化芸術イベントの開催】
取組②	情報環境の拡充
取組③	文化芸術情報を手軽に入手できるようにします 【文化芸術情報の集約化・拡充】
方針2 / 場をつくる	
施策1	施設の整備・活用
取組①	新たなホールの整備を進めます【音楽・演劇ホールの整備】
取組②	練習の場・制作の場を増やします【練習・制作の場の創出】
取組③	情報環境の拡充
取組④	公共空間等を発露の場にします 【アーティストの活動フィールド創出・拡充】
方針3 / 未来につなぐ	
施策1	美術品や文化財の保存・活用
取組①	デジタルの力で、町田の美術品や文化財の魅力を伝えています 【デジタルミュージアムの推進・活用】
取組②	次世代への継承
取組③	子どもたちの文化芸術を「する」体験を増やします 【体験型ワークショップ等の開催】
方針4 / 共に創る	
施策1	市民や団体等のチャレンジの創出
施策2	企業等との共創による推進

check 計画に基づいて、実施する取組を設定

P29  
施策・取組  
一覧

P31～  
取組  
①～⑦

check 町田がワクワクするまちになる7つの取組を具体的に記載

check 「方針4 共に創る」で方針1～3の取組に多様な主体のチャレンジやコラボを促して充実させます

施策1 誰もが気軽に鑑賞・体験できる機会の確保

取組① 文化芸術を身近に感じるイベントを開催します  
誰もが気軽に文化芸術に触れ、その魅力を体験できるよう、文化芸術イベントを開催します。そして、様々な人々が一緒に楽しめる場をつくり、文化芸術を身近に感じる機会を広げるとともに、感動や特別な時間を得る機会を提供することで、はじめての一步となるきっかけをつくります。

事業例

大成功を取った実証事業

2025年5月に実証的に実施した「無料特別公演 音楽座ミュージカル リトルプリンス」では、普段、本格的な舞台芸術に気軽に触れることが難しい障がい者や、未就学児を連れた家族も気兼ねなく参加できるよう、難聴自由、歩き回ることができる、声をあげても構わないなどの配慮を講じた公演(インクルージョン公演)を実施し、迫力ある生の演劇を間近で鑑賞いただくことで、多くの方に文化芸術の魅力を感じていただきました。



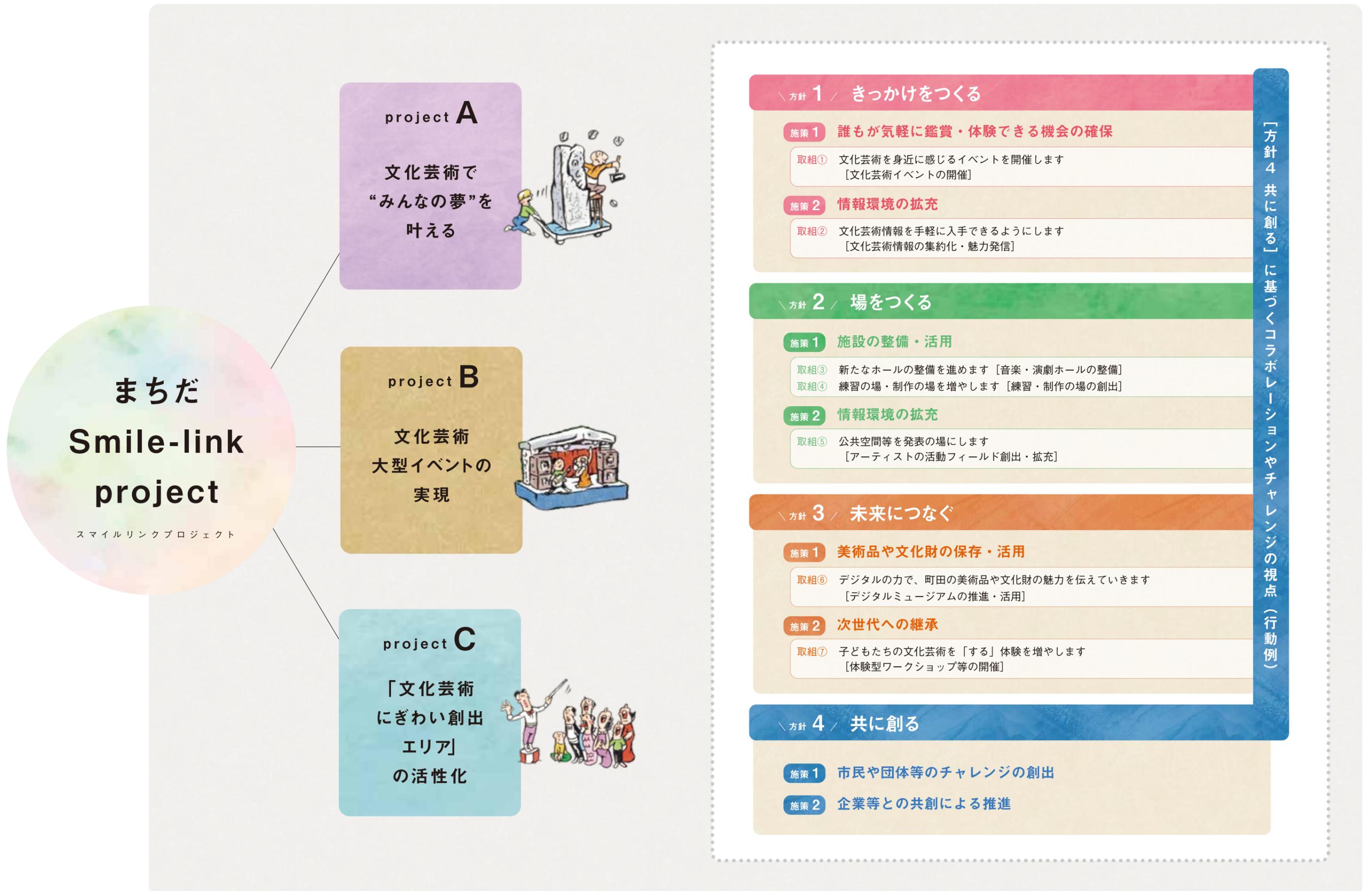
- 町田 Let's st ART
- 「方針4 共に創る」視点の「方針1の行動例」
- チャレンジやコラボで文化芸術を育む
- これまで行ったことのないイベントに参加してみる
  - 新しい文化芸術活動をはじめてみる
  - 友だちを誘ってイベントに参加してみる
  - イベント情報やアーティストの活動をSNSで発信してみる
  - 市や企業に思い切ってイベント提案してみる

check 現在実施している事業を関連事業として方針・施策ごとに整理しています

文化芸術プロモーション・文化芸術に関するメディアプロモート

文化に親しむ機会の提供や、文化芸術の発展を推進するために、Instagramで文化芸術イベント等を発信しています。  
また、文化芸術に関するコンテンツを、幅広いメディアに取り上げてもらえるようPRしています。

# プロジェクト／方針・施策・取組一覧



# 方針 1 / きっかけをつくる

多様な背景や個性を持つ人々など、誰もが文化芸術活動をスタートしやすくなるよう、鑑賞や体験ができる環境を整えるとともに、そのきっかけとなる情報発信を積極的・効果的に行うことで、文化芸術が身近にある暮らしを実現します。

指標 市内で文化芸術活動・鑑賞する機会を持つことができた市民の割合



誰もが文化芸術を身近に感じることができるイベントを開催することや、情報を市内外の方々が手軽に入手できるようにすることで、文化芸術活動のきっかけをつくるとともに、鑑賞する機会をつくっていきます。

## 方針に沿ったまちづくりでふくらむ いいこと



## 施策 1 誰もが気軽に鑑賞・体験できる機会の確保

### 取組① 文化芸術を身近に感じるイベントを開催します

誰もが気軽に文化芸術に触れ、その魅力を体験できるよう、文化芸術イベントを開催します。そして、様々な人々が一緒に楽しめる場をつくり、文化芸術を身近に感じる機会を広げるとともに、感動や特別な時間を得る機会を提供することで、はじめの一步となるきっかけをつくります。

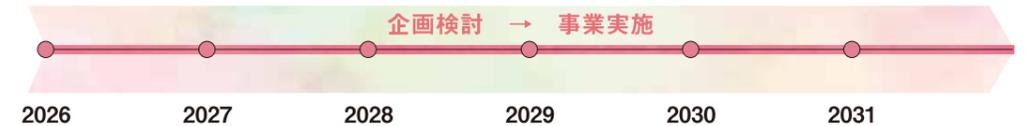
#### 事業例

#### 大成功を収めた実証事業

2025年5月に実証的に実施した「無料特別公演 音楽座ミュージカル リトルプリンス」では、普段、本格的な舞台芸術に気軽に触れることが難しい障がい者や、未就学児を連れた家族も気兼ねなく参加できるよう、離席自由、歩き回ることができる、声をあげても構わないなどの配慮を講じた公演（インクルーシブ公演）を実施し、迫力ある生の演劇を間近で鑑賞いただくことで、多くの方に文化芸術の魅力を感じていただきました。



#### 文化芸術イベントの開催



#### 関連事業

#### 芹ヶ谷公園“芸術の杜” 推進イベント

芹ヶ谷公園“芸術の杜”の再整備に向けて、多様な文化芸術活動や芹ヶ谷公園の豊かな自然に触れ、学び、楽しむことができる新しい体験型の公園を目指して、市民参加型のイベント（Future Park Lab（フューチャーパークラボ）など）を実施しています。

#### 地産地SHOW

町田市ゆかりのアーティストの活動支援を行うとともに、多くの方々が、気軽に文化芸術に触れられるイベントを実施しています。

#### ふれあい落語・ コンサート

市内の市民センターを利用して、文化芸術に気軽に触れられるきっかけづくりとして、落語やコンサートを実施しています。

施策 2 情報環境の拡充

取組② 文化芸術情報を手軽に入手できるようにします

市内の文化芸術イベントや、活動団体、地元アーティストの活動等の情報を、市内外の多くの方が手軽に入手できるようにし、その魅力を知っていただくことで、市の文化芸術のイメージを強化します。

事業例

「文化芸術情報の集約化・魅力発信」

市内で開催されるイベントや展覧会の情報、アーティストや関連団体のSNSなどの情報を集約し、効果的に発信していきます。  
また、例えば演劇ウィークや映画の日などのテーマ性を持たせた期間を設定することで、市民の文化芸術への関心を高めるとともに、シティプロモーションやシティセールスの観点からも、関係部門との連携を強化し、地域全体で文化芸術を盛り上げていきます。



文化芸術情報の集約化・魅力発信



関連事業

文化芸術プロモーション・  
文化芸術に関する  
メディアプロモート

文化に親しむ機会の提供や、文化芸術の発展を推進するために、Instagramで文化芸術イベント等を発信しています。

また、文化芸術に関するコンテンツを、幅広いメディアに取り上げてもらえるようPRしています。

町田で Let's stART

「方針4 共に創る」視点の「方針1の行動例」

チャレンジやコラボで文化芸術を育む

- これまで行ったことのないイベントに参加してみる
- 新しい文化芸術活動をはじめてみる
- 友だちを誘ってイベントに参加してみる
- イベント情報やアーティストの活動をSNSで発信してみる
- 市や企業に思い切ってイベント提案をしてみる

Pick up

水曜午後の音楽会

和光大学ポプリホール鶴川で開催されている「水曜午後の音楽会」は、若手演奏家の登竜門として親しまれているクラシック音楽イベントです。開催は100回を超え、2025年9月に開催された第106回では、弦楽四重奏団「Quartet Volatus (カルテット ヴォラトゥス)」の大学生4名が出演し、表現豊かな演奏で観客を魅了しました。

午後のひととき、気軽に本格的な演奏を楽しめるこの音楽会は、地域住民にとって文化的な癒しの場となっています。入場料も手頃で、音楽ファンだけでなく、初めてクラシックに触れる方にもおすすめです。



Pick up

まちだアーティストバンク

「まちだアーティストバンク」は、市内や市にゆかりのある文化芸術活動者を支援する登録制度です。音楽、演劇、伝統芸能、生活文化など幅広いジャンルのアーティストが登録されており、イベント主催者や市民が出演者を探す際に活用できます。登録されたアーティストは市民ホールのホームページに掲載され、活動の場を広げるチャンスが得られるとともに、地域の文化振興に貢献する機会を得ることができます。



# 方針 2 / 場をつくる

町田市の立地や自然を活かした文化芸術の活動・鑑賞の場をつくとともに、  
基盤となる拠点を整備・活用していきます。

指標 文化芸術に触れる環境等に満足している市民の割合



公共施設をはじめ、民間施設や公共空間において文化芸術活動が行える新たなフィールドを増やしていくことや、芹ヶ谷公園「芸術の杜」「美術エリア」を整備することで、活動側も鑑賞側も更に満足できる環境を整えていきます。

## 方針に沿ったまちづくりでふくらむ いいこと



## 施策 1 施設の整備・活用

### 取組③ 新たなホールの整備を進めます

町田駅周辺では、民間事業者による再開発の機運が高まる中、映画館や音楽・演劇ホールなどの新たな都市機能を導入することで、エンターテインメントによる「誰かと一緒に楽しめるまちづくり」が進んでいます。

これまで整備を目指してきた文化芸術ホールについては、「文化芸術ホール整備に向けた基本的な考え方(2017年度策定)」に示した要素を踏まえながら、エンタメ施設としての音楽・演劇ホールとして整備を進めていくことで、国内外の人気アーティストの音楽や演劇を鑑賞する場をつくり、文化芸術の振興を図っていきます。



### 取組④ 練習の場・制作の場を増やします

文化芸術活動のための新たな練習の場や制作の場を増やすため、公共施設等を活用できるようにします。



### 関連事業

#### 芹ヶ谷公園「芸術の杜」「美術エリア」の整備

町田らしい多様なアート・カルチャーを体現する魅力的な企画やイベントが、美術館にとどまらず、緑あふれる公園の空間やまちなかと一体となって展開されている「芸術の杜」ならではの美術館等を整備しています。

#### 地域センター諸室の貸出

市民活動や文化活動のため、市民センター・コミュニティセンターのホールや音楽室、会議室等の諸室を貸し出しています。

施策 2 活動の場の充実

取組⑤ 公共空間等を発表の場にします

公共空間等において、アマチュアからプロまで幅広い表現者(アーティスト)が発表できる場を創出することで、創造性を高めるとともに、市民が日常生活の中で自然に文化芸術に触れ、賑わいを感じられるまちづくりを推進します。

事業例

アーティストの活動フィールド創出・拡充

道路空間やみどり空間等において、音楽活動やストリートパフォーマンス、アート活動、作品展示など、まちなかの様々な場所をアーティストの活動フィールドとしていくことで、アーティストの可能性を広げていきます。

アーティストの活動フィールド創出・拡充



関連事業

みんな笑顔の  
展覧会

市内の障がい福祉施設には、生活指導の活動取組から、様々な工作作品を作成している事業所が多くあります。利用者が制作する作品類を集めて、市役所のイベントスタジオにて展示し、同施設の魅力を周知、PRしています。

活動成果、  
演芸・作品発表会

生涯学習センターでは、センターで活動するサークルや団体の日頃の活動成果を発表する生涯学習センターまつりを実施しています。また、ふれあい館では、利用者による演芸や作品発表、盆踊りを実施しています。

小・中学校連合音楽会、  
連合演劇発表会

市立の小・中学校が合同で、合唱・吹奏楽・演劇などの発表を町田市民ホールで行っています。

チャレンジやコラボで文化芸術を育む

- ☑ お気に入りの活動場所をシェアして賑やかにしてみる
- ☑ 新しいホールの舞台に立てる一流アーティストを目指してみる
- ☑ 文化芸術活動の場として店舗等の場を提供してみる
- ☑ コミュニティアートを活用したまちづくりを実践してみる
- ☑ 公共空間のアートで多くの人を癒してみる

町田 Let's stART

「方針 4 共に創る」視点の  
「方針 2 の行動例」

Pick up

芹ヶ谷公園“芸術の杜”整備 ~いつものお散歩コースが、より楽しくなるのよね~

秋のイベント「Future Park Lab」の準備で、木々に動物アートのバナーを掛けていると、通りがかった方が声をかけてくれた。何年も続けてきたからこそ、「今年も楽しみにしていた」と言っていたのだろう。以前には「小さい子どもを連れて美術館には入りづらいけれど、外でゆっくり絵を見られるのは本当に素敵。好きな鑑賞を続けられる」との言葉もいただいた。感謝や感動を伝えてくださる瞬間は、いつも胸が熱くなる。



芹ヶ谷公園は、「公園がまるでミュージアムのように」「自然とアートを学び楽しめる」ことを目指している。共感してくれる市民やアーティストとともに、訪れた人が楽しみ尽くせるイベントやワークショップ等を実施している。夏には木々の間に白いスクリーンを張り、

インドネシアの影絵・ワヤンクリットを上演。個性豊かなキャラクター「サルの子シオカ」「カエルのヤマダ」と、子どもたちが創作した影絵が物語を盛り上げる。



また、市内のモニュメントをモチーフにした屋外漫画展示では、普段見慣れた風景が「アート」として再発見され、展示後に実際のモニュメントを巡る人の姿もあった。

芹ヶ谷公園で生まれる“Made in Serigaya”の感動が、これからも訪れる人の心に息づく文化となることを願っている。

Pick up

町田市民文化祭



町田市民文化祭は、市民が主役となって文化芸術を「見て・聴いて・参加」できる、町田市最大級の文化イベントです。毎年秋に開催される「秋の催し」では、舞台・展示・文芸の3部門が一室に会し、町田市民ホールやまほろ座 MACHIDAを会場に多彩なプログラムが展開されます。

2025年第47回のテーマは「かがやく未来へ」。市内外から訪れる人々が、文化を通じて未来への希望を感じられる場となっています。入場は無料で、誰でも気軽に楽しめるのが魅力です。市民の創造力と地域の文化力が結集するこの祭典は、町田の魅力を発言する重要な機会となっています。

市の貴重な資産であり、歴史を物語る美術品や文化財を保存・活用します。  
また、文化芸術活動が続けられてきた土壌を守り、  
文化芸術を担う人財のもつ技術や想いを次世代につなげていきます。

指標 文化財、遺跡、歴史的な街並み、伝統芸能等の継承と保存が大切にされていると思う市民の割合



市が誇る美術品や文化財をデジタルアーカイブ化し、現在の保存・活用状況を見て、知って興味を持ってもらうことや、実際に文化芸術を「する」体験を増やすことで、未来に残していく大切さを学び、継承と保存を進めていきます。

方針に沿ったまちづくりでふくらむ  
いいこと



施策 1 美術品や文化財の保存・活用

取組⑥ デジタルの力で、町田の美術品や文化財の魅力を伝えていきます

市が誇る美術品や考古・歴史・民俗資料等を適切に保存するとともに、デジタルアーカイブ化して活用することで、その魅力や町田の歴史に興味を持ってもらい、未来に残していきます。

実施例

デジタルミュージアムの推進・活用

市が収蔵する日本有数の美術品をデジタルアーカイブ化し、市内外の方々に知ってもらい、魅力を伝えることで、実際に見て、楽しんでいただけるような仕掛けを展開していきます。また、現在公開している考古・民族・歴史資料等の町田デジタルミュージアムを、学校教育やイベント等に活かし、歴史や文化への理解を深めることで、次の世代につなげていきます。



～まちだ縄文キャラクター「まっくう」～

デジタルミュージアムの推進・活用



関連事業

美術・工芸の魅力を伝える  
展示の実施

国際版画美術館の歌川広重の東海道五拾三次などの版画作品コレクションや、博物館の東南アジアの陶磁器コレクション、ボヘミアン・グラスなどの工芸品を展示しています。

また、国際版画美術館では、企画・特集展示として、講演会、ギャラリートーク、鑑賞イベント、製作を伴うイベントやコンサートなど、通年で美術や工芸の魅力を伝えています。

文化財、歴史資料の  
デジタル公開

町田市が収蔵する 2,000 点以上の考古、歴史、民俗資料をインターネット上で閲覧できるサービス「町田デジタルミュージアム」を公開し、いつでも、どこでも町田の歴史を楽しめる環境を提供しています。

市域資源を  
活かした展示

本物に触れることができるよう、自由民権資料館や考古資料室、三輪の森ビジターセンター内郷土資料展示室、本町田遺跡公園ガイダンスルームにて、土器や古文書、民具などの資源を活用した展示を実施しています。

## 施策 2 次世代への継承

### 取組⑦ 子どもたちの文化芸術を「する」体験を増やします

アーティストとの共演や共作、伝統文化等の体験を通じて、未来に歴史や技術等を受け継いでいけるよう、文化芸術を「する」体験の機会を提供していきます。

#### 事業例

#### 体験型ワークショップ等の開催

子どもたちとアーティストとの共演や共作等が行える体験型のワークショップを開催し、市内で育まれてきた歴史やアーティストが研鑽してきた技術等を学び、受け継いでいきます。加えて、STEAM教育を推進する学校等で町田の文化芸術、ひいては日本文化芸術の品質や美意識の高さを学ぶ機会を設け、問題解決能力や創造力、表現力を培うことを通じて、伝統文化等の伝承につなげていきます。



#### 体験型ワークショップ等の開催



#### 関連事業

#### 工芸制作プログラム

子どもたちが工芸美術に親しめる環境をつくるため、学校と連携して、工芸制作プログラムを実施しています。

#### 子どもたちの体験学習

読み聞かせ、茶道体験、華道体験、伝統文化等の文化芸術体験や、講師から話を聞く機会を各学校で実施することで、未来につなげています。

### 町田 Let's stART

#### 「方針 4 共に創る」視点の「方針 3 の行動例」

#### チャレンジやコラボで文化芸術を育む

- デジタルアーカイブや実際に見て、知って、文化財の保存方法について学んでみる
- 市外や外国の方々に町田の特色ある美術品や文化財を紹介してみる
- 学校の授業のテーマとして取り入れてみる
- 伝統文化等を子どもや若者たちに幅広く教えてみる

## Pick up

### 鶴川ショートムービーコンテスト

鶴川地域で開催される「鶴川ショートムービーコンテスト」は、地域発の映像文化を育てるユニークな取組です。15分以内のショートムービーを対象に、ジャンルやテーマは自由。プロ・アマ問わず、誰でも応募できる開かれたコンテストで、映像を通じて「伝えたいこと」を形にする場として注目されています。



2025年で10回目を迎え、全国から130本以上の応募がありました。グランプリには賞金が授与されるほか、町田市長賞やU-18賞など、幅広い世代に向けた部門も設けられています。

入選作品は11月に和光大学ポブリホール鶴川で上映され、観客投票によって「観客賞」も決定されました。映像制作を通じて地域の魅力や人材を再発見し、若手クリエイターの挑戦を応援するとともに、鶴川から全国へ、映像の力で人と人をつなぐ文化イベントとして、町田市の文化振興に大きく貢献しています。

<http://www.tsurukawa-smc.com/>

## Pick up

### 小学生向け特撮怪獣映画ワークショップ



「小学生向け特撮怪獣映画ワークショップ」は、日本の映像文化を未来へつなぐ取組です。

3日から4日間でストーリー作りや怪獣の造形、ミニチュアセット制作、撮影、編集までを子どもたちが体験し、指導するのは第一線で活躍するプロのクリエイター。

大人の技術と知識が次世代へ受け継がれる瞬間は、創造力を育む文化的な営みです。スクリーン

の裏側にある工夫を知ること、子どもたちは「つくる楽しさ」と「表現する力」を身につけます。町田から新しい才能が芽生え、日本の特撮文化を未来へつなぐことが期待できる取組です。

若者や市民、文化芸術関係団体、大学や企業等と共に、文化芸術を創作する機会やチャレンジできる場をつくり、エンターテインメントの要素を取り入れたまちをつくります。

施策1 市民や団体等のチャレンジの創出

施策2 企業等との共創による推進

▶ “チャレンジ” や “コラボレーション(共創)” の視点で、方針1～3の充実を図ります

指標

文化芸術活動にあたり、他分野の団体や企業、大学等と連携した活動に取り組んでいる市民の割合



市民や団体等のチャレンジ、大学や企業等とコラボレーションできる機会・場を増やしていくことで、文化芸術活動にあたって他分野との連携を促していきます。

方針に沿ったまちづくりでふくらむ いいこと



Pick up

市民協働フェスティバル「まちカフェ！」



毎年秋に開催される「まちカフェ！」は、市内最大級の市民協働イベントです。

町田市内で活動するNPO法人や市民活動団体、地域活動団体、事業者が一堂に会し、展示やワークショップ、ステージ発表などを通じて、日頃の成果発表や交流を深めています。音楽コンサートやダンス、アート体験など多彩な文化芸術活動も会場を彩ります。

また、参加団体とボランティアで構成される「まちカフェ!実行委員会」と町田市が共催し、市民が主体となって企画・運営されている点も大きな特徴です。

近年では150以上の団体が参加し、開催期間中の来場者は8,000人を超えます。誰もが気軽に参加できるこのイベントは、世代や分野を超えて人と人がつながる場であり、地域の課題や魅力を共有し、まちへの関心を高める貴重な機会となっています。